

おしえて！りそにゃ。



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

「年金100年安心」ではないの？ 公的年金について考えてみよう

「老後2,000万円問題」が話題になり、新聞・雑誌などでも「『年金は100年安心』と言っていたのは嘘だったのか」といった論調で語られていることもしばしば。そもそも「年金100年安心」とはどういうことなのでしょう。



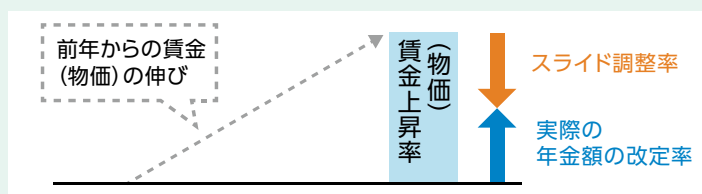
「年金100年安心」とは、
「**公的年金制度は100年後も維持されます**」という意味

現在の公的年金制度は、少子高齢化が進行しても、将来にわたって制度を持続的で安心できるものとするための長期的な財政の仕組みが取り入れられています。

1 マクロ経済スライド — 年金の給付水準を財源の範囲内で自動調整する仕組み —

年金額の伸びを賃金や物価の上昇ほど大きくせず、決められた財源の範囲内で給付を行い、年金財政の均衡を目指します。

現在生まれている世代が年金の受給を終えるまでの概ね100年間を財政均衡期間とし、少なくとも5年毎に行う財政検証毎にこの期間を5年ずつ移動させて、常に一定の将来までの給付と負担の均衡が図られます。



〈出典〉厚生労働省「いっしょに検証！公的年金 マクロ経済スライドってなに？」
<https://www.mhlw.go.jp/nenkinkenshou/finance/popup1.html>

2 所得代替率 — 将来受け取れる年金額が現役世代の手取収入と比べてどのくらいの割合かを示すもの —

マクロ経済スライドにより、給付と負担のバランスは保たれても、給付水準が際限なく下がることのないよう、下限は所得代替率50%と定められています。

財政検証において5年後までの間に50%を下回る見込みとなった場合は、給付水準調整の終了を検討し、併せて給付と負担の在り方を見直すことになっています。

3 財政検証 — 5年に一度〈今年に実施〉 —

その時点での人口や経済の動向を踏まえて、年金の財政状況を定期的に確認します。

概ね100年という長期の財政収支や給付水準の見通しはどうか、所得代替率はどれくらいになるのか、注目です。

確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



ご自身の老後必要額は7月号を参照して確認してみよう！

パスワードをお忘れの方はこちらからお手続きできます。
お取引状況のお知らせ右上に記載の口座番号が必要です。

2019年8月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

りそな銀行 ホームページ

<https://www.resonabank.co.jp/>

本レターの無断引用・転載はお断りします。